

2024（令和 6）年度

事業報告書及び財務諸表

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日



公益財団法人 神戸ファッション協会

◆ 目 次 ◆

◇2024（令和 6）年度 事業報告書

I 総括的概要	1
II 組 織	2
1. 会員	
2. 役員	
3. 企画委員会	
4. 事務局	
III 会議開催状況	4
1. 理事会	
2. 評議員会	
IV 事業実施状況	5
1. ファッション関連事業の実施	
(1) 都市ブランドの強化	
(2) 販路開拓・消費拡大	
2. 企業・人材の交流・育成	
3. 情報の収集・発信	
4. 後援・協力	

◇2024（令和 6）年度 決算報告書

正味財産増減計算書	13
正味財産増減計算書内訳表	14
貸借対照表	16
貸借対照表内訳表	18
財務諸表に対する注記	20
財産目録	25
監査報告書	26

I 総括的概要

2024（令和6）年度においては、当協会の設立目的である「神戸を中心とする兵庫県下の生活文化産業の振興」を図るべく、都市ブランド強化、販路開拓・消費拡大を中心とした諸事業に取り組むとともに、会員をはじめとする地元の企業や人材の交流事業、情報収集・発信事業などを実施しました。

はじめに都市ブランド強化に資する事業として、「2024 洋菓子フェスタ in Kobe」では、工芸菓子の展示やケーキコンテスト、大型飴細工の実技コンテスト「神戸洋菓子職人道」に加え、神戸マイスターや洋菓子の国際大会で団長を務め金賞などの多数の受賞歴を持つパティシエと国内トップクラスの飴細工パティシエ二人のパフォーマンス、ケーキ教室、ケーキ講習会等を開催しました。

また、2025年1月には「みんなのガレット博覧会～2025 神戸ガレット・デ・ロワ～」を神戸阪急で開催し、コンテスト開催による人材育成の他、大型ガレット・デ・ロワの展示、多彩なガレットの販売等を通じて、「洋菓子のまち・神戸」「パンのまち・神戸」をPRしました。

さらに、神戸タータン協議会の「神戸タータン」を使用した都市イメージ向上の活動を継続的に支援するとともに、神戸市内新小学一年生に対して、文具セットを贈呈しました。

この他、「真珠の街・神戸」の認知度向上を図るため、「真珠のアクセサリーづくり教室」を2025年3月に開催し、真珠の街・神戸について理解を深めて頂きました。

販路開拓・消費拡大に資する事業として、2025年の大阪・関西万博を視野に入れ、兵庫県内5国（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）の産業や技術に着目し、次代を担うクリエイターや職人の技を通じて兵庫県のモノづくりの素晴らしさを世界に向けて発信する「ひょうご国～HYOGO産を世界に発信するPROJECT～」を大丸神戸店等で開催した他、台湾のデザイナー等とコラボ商品開発に取り組みました。

世界的に圧倒的な知名度を誇る「神戸ビーフ」の副産物である「神戸レザー」を使用し、国内顧客向けをターゲットとした低ランクの原皮を使用した安価なワークショップメニューに加え、比較的高価なワークショップコンテンツを開発しました。

地場産業や伝統的工芸等、兵庫県内の生活文化産業の振興と活性化・連携を図るため、「国際フロンティア産業メッセ 2024」会場内に「ひょうごじばさんフェア 2024」として出展した他、「ポートピアホテル夏休みじばさんフェア」を開催し、県内の地場産業のPRに努めました。

さらに、神戸の食にフォーカスを当て、日本一の酒どころである「灘五郷」の日本酒をはじめとする神戸の食文化が楽しめる「神戸グルメディスカバリー」に協賛するとともに、神戸の持つ多彩な食文化を伝えるため、「神戸洋食とカクテルのおいしい関係」をラジオ×雑誌×イベントを通して伝え、神戸の豊かな食文化を発信しました。

さらに「ファッションの力で神戸を元気に!!」このスローガンのもと、2025年2月に「Kobe Fashion Meeting VOL.0～繋ぐ～」を開催しました。

この他、次代を担う若手経営者等を対象とした勉強会「ブランド研究会」を開催しました。

会員への情報提供としては、ホームページをはじめ、フェイスブックやInstagram等のSNSを活用して事業やイベント情報の発信を行いました。

2025年3月31日現在の当協会の基本財産は、535,871,749円です。

Ⅱ 組 織

1. 会 員

本年度の会員の異動および本年度末の会員数は、次のとおりです。

会員種別	2024 年 3 月 31 日	入会数	退会数	2025 年 3 月 31 日
企業会員	66	1	4	63
団体会員	30	1	1	30
個人会員	9		1	8
特別会員	2			2
計	107	2	6	103

2. 役 員（敬称略・順不同、2025 年 3 月 31 日現在）

〔顧問〕

齋 藤 元 彦 兵庫県知事
久 元 喜 造 神戸市長
川 崎 博 也 神戸商工会議所 会頭

〔会長〕

小 田 俱 義 (株)イズム 代表取締役社長

〔副会長〕

大 月 京 一 (株)大月真珠 代表取締役社長
山 口 信 二 モロゾフ(株) 代表取締役社長
白 樫 政 孝 剣菱酒造(株) 代表取締役社長
高 瀬 英 夫 (公財)北播磨地場産業開発機構 理事長

〔専務理事〕

関 口 幸 明 神戸商工会議所 常務理事・事務局長

〔理 事〕

安 達 利 也 住友ゴム工業(株) スポーツ事業本部事業推進部長
伊 藤 剛 (株)神戸ポートピアホテル 取締役総支配人
河 本 英 雄 (株)ユーハイム 代表取締役社長
高 村 晃 司 UCCジャパン(株) 執行役員総務本部本部長
寺 島 浩 美 フジッコ(株) 取締役上席執行役員
塚 本 浩 康 六甲バター(株) 代表取締役社長 兼 CEO
畑 崎 充 義 (株)ワールド 取締役
林 勝 哉 (株)シャルレ 代表取締役社長
藤 井 建 太 (株)ドンク 取締役
吉 井 康太郎 (株)ロック・フィールド 常務取締役経営企画本部本部長
山 中 勸 (株)伍魚福 代表取締役社長
團 野 礼 子 兵庫県 産業労働部次長
大 畑 公 平 神戸市 経済観光局長

〔監 事〕

宮 地 良 彰	(株)みなと銀行 地域戦略部長
平 井 克 幸	神戸商工会議所 産業部長

〔評 議 員〕

阿 辻 覚	(株)神戸商工貿易センター 神戸ファッションマート総務部長
天 野 良 昭	(一社)豊岡鞆協会 事務局長
石田原 弘	神戸タータン協議会 会長
伊地知 由美子	日本真珠輸出組合 専務理事
市 野 達 也	丹波立杭陶磁器協同組合 理事長
岩 原 直 子	(公財)ひょうご産業活性化センター 常務理事
植 木 砂 織	(学)育成学園 理事長
小 野 博 志	(一社)神戸貿易協会 常務理事
小 山 剛	(株)大丸松坂屋百貨店 大丸神戸店営業推進部長
杉 崎 聡	(株)阪急・阪神百貨店 執行役員神戸阪急店長
福 富 立 樹	(学)福富学園 理事長
福 原 敏 晃	(一社)兵庫県洋菓子協会 副会長／(有)ボック 代表取締役社長
森 悟 志	(公財)神戸市産業振興財団 常務理事
山 下 和 也	(一社)日本燐寸工業会
横 井 準	(公社)兵庫県物産協会 専務理事兼事務局長

3. 企画委員会 (敬称略・順不同、2025 年 3 月 31 日現在)

大 月 康 史	(株)大月真珠 取締役
岡 崎 忠 彦	(株)ファミリア 代表取締役社長
桑 田 隆 晴	(株)グリップインターナショナル 代表取締役会長兼社長
白 檉 政 孝	剣菱酒造(株) 代表取締役社長
高 田 恵太郎	(株)ぜんまい 会長
沼 部 美由紀	(株)クロシェホールディングス 代表取締役
星 加 ルリコ	(株)RURIKO PLANNING 代表取締役社長
山 口 信 二	モロゾフ(株) 代表取締役社長
松 木 保 博	兵庫県 産業労働部地域産業立地課長
八 木 美 咲	神戸市 経済観光局ファッション産業課長
西 田 由 実	神戸商工会議所 産業部次長

4. 事務局 (2025 年 3 月 31 日現在)

藤 本 晋 一	事務局長
池 上 隆 司	部長
高 桑 直	課長
藤 井 寿 子	
中 谷 茜	

〔所 在 地〕 神戸市中央区港島中町 6 丁目 1 番地 神戸商工会議所会館 6 階
TEL : 078-303-3123 FAX : 078-303-3122

Ⅲ 会議開催状況

1. 理事会

(1) 第1回理事会（通算第104回）※ 決議の省略

開催日 4月18日

出席者 13名（理事総数13名）

議案 令和6年度第1回（通算第77回）評議員会（決議の省略）の開催について

(2) 第2回理事会（通算第105回）

開催日 6月13日

場 所 神戸ポートピアホテル

出席者 11名（会場出席11名／理事総数14名）

議案 2023（令和5）年度事業報告の承認に関する件
2023（令和5）年度決算報告の承認に関する件
評議員会の招集に関する件

(3) 第3回理事会（通算第106回）※ 決議の省略

開催日 6月28日

出席者 19名（理事総数19名）

議案 会長の選定について
副会長の選定について
専務理事の選定について

(4) 第4回理事会（通算第107回）

開催日 12月11日

出席者 16名（会場出席14名、Web会議Zoomシステム出席2名／理事総数19名）

報告 2024（令和6）年度事業の進捗状況について

(5) 第5回理事会（通算第108回）

開催日 2025年3月11日

出席者 16名（会場出席15名、Web会議Zoomシステム出席1名／理事総数19名）

議案 2025（令和7）年度事業計画の承認について
2025（令和7）年度収支予算の承認について

報告 2024（令和6）年度事業の進捗状況について

2. 評議員会

(1) 第1回評議員会（通算第77回）※ 決議の省略

開催日 4月25日

出席者 13名（評議員総数13名）

議案 理事の選任について
監事の選任について
評議員の選任について

(2) 第2回評議員会（通算第78回）

開催日 6月28日

場 所 神戸ポートピアホテル

出席者 10名（会場出席9名、Web会議Zoomシステム出席1名／評議員総数14名）

議 案 2023（令和5）年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認に関する件
任期満了に伴う評議員の選任について
任期満了に伴う理事の選任について
任期満了に伴う監事の選任について

IV 事業実施状況

1. ファッション関連事業の実施

(1) 都市ブランドの強化

①「洋菓子のまち・神戸」の発信

〔（一社）兵庫県洋菓子協会、神戸市、神戸商工会議所との共催〕

ア. 「2024 洋菓子フェスタ in Kobe」

「2024 洋菓子フェスタ in Kobe」を4月24日から30日までの7日間、大丸神戸店において開催しました。

今回は、『スポーツで人とつながる・街とつながる』をテーマに、神戸・兵庫県内のパティシエによる「工芸菓子の展示」や「デコレーションケーキコンテスト」、大型飴細工の実技コンテスト「神戸洋菓子職人道」を実施しました。

この他、神戸マイスターによるパフォーマンスや、有名パティシエによるケーキ講習会、洋菓子の国際大会で団長を務め金賞など多数の受賞歴を持つパティシエと国内トップクラスの飴細工パティシエ二人のパフォーマンスを実施し、広く一般消費者に「洋菓子のまち・神戸」を訴求しました。



開催日 4月24日～30日 計7日間

会 場 大丸神戸店

来場者 約17,000名



イ. 「みんなのガレット博覧会～2025 神戸ガレット・デ・ロワ～」の開催

「みんなのガレット博覧会～2025 神戸ガレット・デ・ロワ～」を2025年1月10日から13日までの4日間、神戸阪急において開催しました。

若手パティシエ・ブーランジェの育成を目的とした「神戸ガレット・デ・ロワ コンテスト」の作品展示の他、大型ガレット・デ・ロワやクーロンヌ・デ・ロワの展示、「ガレット・デ・ロワ」や「クーロンヌ・デ・ロワ」のホール及びカット販売、ガレット・デ・ロワづくり体験、フェーブの販売、お買い上げ抽選会等を開催し、広く一般消費者に「洋菓子のまち・神戸」「パンのまち・神戸」を訴求しました。

この他、「ガレット・デ・ロワ」の認知度向上と買い回り促進を図るため、スマートフォンを活用した「デジタルスタンプラリー」を参加店の販売期間に合わせて開催しました。



＜みんなのガレット博覧会～2025 神戸ガレット・デ・ロワ＞

開催日 2025 年 1 月 10 日～13 日 計 4 日間

会場 神戸阪急

来場者 約 34,000 名



＜2025 神戸ガレット・デ・ロワ デジタルスタンプラリー＞

開催日 12 月 27 日～2025 年 1 月 31 日

会場 33 店・スポット (9 ブランド)

参加者 総閲覧者数 800 名

総参加者数 231 名

総スタンプ数 342 名

特典応募者数 67 名



② 「神戸タータン」を活用した都市魅力の推進

「神戸タータン」を使用した商品の開発・販売を通じて神戸の都市イメージの向上、関連産業の振興を図るため、神戸タータン協議会の活動を支援しました。

常設売場は、神戸ロフト、新神戸駅アントレマルシェの市内 2 店舗、その他にオンラインショップを展開しました。

今年度も神戸タータンオリジナル文具セットを神戸タータン協議会、神戸市とともに神戸市立新小学校一年生約 11,000 名に対して贈呈しました。

贈呈式は全校を代表して、神戸市立成徳小学校（神戸市灘区）において開催しました。

同協議会への加入数…132 事業所・団体、アイテム数…366 （2025 年 3 月 31 日現在）



③ 新・真珠ブランド構築の推進（パールシティ神戸協議会、神戸市との共催）

真珠の街・神戸の体感プログラムとして、「真珠のアクセサリーづくり教室」を 2025 年 3 月 30 日にデザイン・クリエイティブセンター神戸において開催しました。

当日は、神戸が「真珠の街」と言われる背景について説明を受けた後、あこや貝剥き体験、真珠穴あけ体験、ワイヤーによるペンダント制作に取り組んで頂きました。



開催日 2025 年 3 月 30 日

会場 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

参加者 25 名（午前の部 12 名、午後の部 13 名）



(2) 販路開拓・消費拡大

① じばさん「ひょうご国」プロジェクト事業

2025 年 4 月に開幕する大阪・関西万博を視野に入れ、兵庫県内 5 国（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）の産業や技術に着目し、次代を担うクリエイターや職人の技を通じて兵庫県のモノ作りの素晴らしさを世界に向けて発信する「ひょうご国～HYOGO産を世界に発信するPROJECT～」に取り組みました。（URL:<https://hyogokoku.kfo.or.jp/>）



海外販路開拓支援事業として、海外販路開拓オンライン説明会や相談会の開催を実施した

ほか、国内集客イベントとして、百貨店イベントを大丸神戸店と大丸京都店で実施した他、首都圏イベント「嗜好品店」に出展しました。

コラボ商品開発では、(財)台湾デザイン研究院と覚書を締結し、海外デザイナーと県内4産地との連携による商品開発に取り組んだ他、台湾の実践大学とは、播州織の産元企業提供生地によるアパレルの提案に取り組みました。

<海外販路開拓オンライン説明会>

開催日 11月7日
テーマ 「ひょうご国一Made in Japan ブランド限定 EC サイト BECOS」 出店事業者募集説明会
内容 「越境 EC へのチャレンジの重要性とそのメリット」
オフィスめがね プロデューサー 藤野 秀敏 氏
「Made in Japan ブランド限定『BECOS』のご紹介」
(株)KAZAANA 代表取締役社長 樫村 健太郎 氏
参加者 18名
出店企業 9社・団体
出店URL 日本語：<https://www.thebecos.com/collections/hyogokoku>
英語：<https://en.thebecos.com/collections/hyogokoku>

<個別相談会（現地訪問）>

開催日 11月11日
訪問先 丹波立杭陶磁器協同組合、(株)斎藤商店、大化産業(株)、
桑村繊維(株)、(株)コンドウファクトリー

<百貨店への出展>

開催日 9月4日～24日（3週間）
会場 大丸神戸店

開催日 9月18日～24日（1週間）
会場 大丸京都店



<首都圏イベントの出展>

名称 嗜好品店
開催日 11月22日～24日（3日間）
会場 東急プラザ銀座



<(財)台湾デザイン研究院の兵庫県内の産地企業訪問>

期間 8月4日～8日
訪問先 神戸酒心館、淡路瓦工業組合、(株)タツミ、
(株)薫寿堂、(株)MINERVA ミシン研究所、
(株)モリタ、(株)タイムボックス、アルチザン、
市野伝市窯、神戸ポートピアホテル他
参加者 18名



＜(財)台湾デザイン研究院との覚書締結式・発表会・交流会＞

開催日 8月7日
会場 神戸ポートピアホテル
参加者 41名



＜実践大学：個別企業訪問＞

開催日 11月28日～29日
訪問先 播州織産元企業3社、皮革製造会社2社



＜実践大学：播州織産元企業へのプレゼンテーション＞

開催日 2025年2月28日
会場 播州織産元協同組合
参加者 10名



② 地場産業SDGs推進事業

世界的に圧倒的な知名度を誇る「神戸ビーフ」の副産物である「神戸レザー」を使用し、これまでの国内顧客向けをターゲットとした低ランクの原皮を使用した安価なワークショップメニューに加え、インバウンド向けの比較的高価なワークショップコンテンツを開発しました。

2025年2月24日・25日に大丸神戸店前 multi-BASE においてワークショップ体験で神戸レザーの理解を深めるとともに、1週間の multi-BASE のラッピング広告で神戸レザーの認知を図りました。

この他、神戸レザーのトレーサビリティカードの作成や2025年1月20日から22日、パリのファッション国際見本市「Who's Next 2025」に出展し、フランス国内でセレクトショップを多角経営する「Victoire Paris (ヴィクトワール パリ)」のアイテム制作や、イギリス・ロンドンのデザイナーと共同でかばんを制作するなどの商談がまわりました。



③ 地場産業総合振興事業

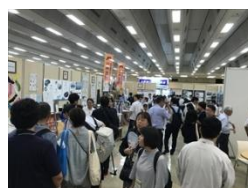
県内地場産品のPRや販路開拓、産地間連携の促進を目的に、次の事業を実施しました。

ア. ひょうごじばさんフェア2024

兵庫県の地場産業の振興と活性化を図るため、「国際フロンティア産業メッセ2024」会場内において特設ブースを設け、「ひょうごじばさんフェア2024」を開催しました。

県内の11団体・社が出展したほか、地場産業ブースとは別に新たに「Next ひょうご」と題して、ビームス JAPAN のバイヤーを招き、新しい取引先とのビジネスマッチングの機会を設け、商談会を公開で行うなど、地場産地・団体が新たに取り組む事業や販路拡大、認知向上を図るための支援を行いました。

開催日 9月5日～6日(2日間)
会場 神戸国際展示場1号館2階
「国際フロンティア産業メッセ2024」
会場内



出 展 者 11 団体・企業 (12 小間)

- ・日本ケミカルシューズ工業組合
- ・兵庫県靴工業組合
- ・兵庫県線香協同組合
- ・(公財)北播磨地場産業開発機構
- ・(株)三木章刃物本舗
- ・(公財)神戸ファッション協会 (Next ひょうご)
- ・(一社)日本燐寸工業会
- ・兵庫県靴下工業組合
- ・淡路瓦工業組合
- ・播州算盤工芸品協同組合
- ・西姫路にかわ皮革産業協同組合

来 場 者 約 13,600 名 (2 日間合計)

イ. 夏休み「じばさん」フェア

郷土の歴史と伝統に培われ、地域において重要な役割を果たしている兵庫県の地場産業の振興と活性化を図るため、神戸ポートピアホテル内において、「ポートピアホテル 夏休みじばさんフェア」を開催しました。

兵庫県内の 6 業種の地場産業が出展し、夏休みを利用したワークショップ、商品販売、「SDGs への取り組み」の展示を実施し、職人技術や商品の PR を行い、産地ブランドの認知向上と販路拡大や異業種との交流を図りました。

開 催 日 8 月 10 日～11 日 (2 日間)

会 場 神戸ポートピアホテル

出 展 者 9 団体・企業

- ・(公財)北播磨地場産業開発機構
藤井茂織布、大化産業(株)、播州織工業協同組合
- ・神戸レザー協同組合
- ・(一社)日本燐寸工業会
- ・播州算盤工芸品協同組合
- ・(株)三木章刃物本舗
- ・(株)ワールド



来 場 者 約 2,000 名 (2 日間合計)

ウ. 大手流通業とのタイアップによる地場産品の販売促進

ビジネスマッチングの円滑化を目的に、大手流通企業との連携のもと、当協会が商談の窓口となり、大型量販店の催事企画等に合わせた産地企業のビジネスチャンスを生み出し、販路開拓・拡大の支援を行いました。

◇ イトーヨーカドー甲子園店

出 店 者 (株)有馬せんべい本舗

実 施 日 7 月 23 日～8 月 20 日、9 月 5 日～6 日、12 月 16 日～2025 年 2 月 18 日

④ 灘の酒と食振興事業 (神戸市、神戸商工会議所との共催)

神戸の食にフォーカスを当て、飲食・物販・ワークショップなどを展開し、日本一の酒どころである「灘五郷」の日本酒をはじめとする神戸の食文化を楽しんで頂き、子どもから大人まで「おいしい!」を通して自然の恵みや食文化を体感する「神戸グルメディスカバリー」(主催:神戸グルメディスカバリー制作委員会)に協賛しました。

当日は、若年層や若い女性などに日本酒ファンのすそ野の拡大を図るとともに多彩な食文化を持つ神戸の都市イメージの向上に努めました。

開催日 11月2日～3日
会場 東遊園地
出店企業 51ブース 2日間合計
来場者 約30,000名



⑤ 神戸の食文化発信事業（神戸市、神戸商工会議所との共催）

神戸の持つ多彩な食文化を伝え、神戸から新たな「食」のライフスタイルを提案することで、神戸・兵庫に暮らす人々に生活文化を豊かにする事業として神戸の食文化発信事業を開催しました。

神戸洋食とカクテルのおいしい関係をラジオ×雑誌×イベントを通して伝え、神戸の豊かな食文化を発信しました。

<ラジオ>

開催日 11月5日、11月12日、11月19日、11月26日 計4回
番組 Kiss FM KOBE 「Wave!!!」 12時15分～12時20分
内容 （松田）礼那の自由研究～神戸洋食とカクテルのおいしい関係～



<雑誌>

掲載誌 月刊 神戸っ子 12月号
内容 神戸洋食とカクテルのおいしい歩き方



<洋食とカクテルのペアリングイベント>

開催日 12月7日
会場 オーシャンプレイス
参加者 100名（ソールドアウト）



⑥ 神戸ファッション振興事業（神戸市、神戸商工会議所との共催）

「ファッションの力で神戸を元気に!!」このスローガンのもと、2025年2月27日に「Kobe Fashion Meeting VOL.0 ～繋ぐ～」を開催しました。当日は、ファッションを志す学生や神戸のアパレル企業、行政、小売店、クリエイターが集まり、専門学校や大学の紹介を兼ねたファッションショー、トークショー、神戸のファッション企業10社による「Kobe-Style Exhibition」としてファッションショーを開催しました。また、終了後には交流会を開催しました。



開催日 2025年2月27日
参加者 252名（うち学生135名）
会場 神戸ファッション美術館
衣装提供 10社14ブランド
参加校 全6校



2. 企業・人材の交流・育成

① 講演会・セミナー・会員交流会等の開催

ア. ブランド研究会

ファッション都市・神戸に相応しいブランドのあり方を研究することを目的に生活文化産業の次代を担う若手経営者・経営幹部を対象とした勉強会を開催しました（会員制）。

今年度は、「オーセンティック・ブランディングの重要性を考える」をテーマに、ケースやディスカッションを通じて、ブランディングの重要性について学びました。

コーディネーター

芸術文化観光専門職大学 教授

関西学院大学

名誉教授 佐藤 善信 氏

開催日 5月20日～2025年3月11日 計6回

会員数 19名（2025年3月31日現在）



② 各種コンテストの開催

「衣・食・住・遊」等の生活文化産業に携わる時代を担う人材の育成・交流を図るため、「2024 洋菓子フェスタ in Kobe」の中でデコレーションケーキコンテスト、神戸洋菓子職人道を実施しました。

また、「神戸ガレット・デ・ロワ コンテスト」を開催し、全作品は「みんなのガレット博覧会～2025 神戸ガレット・デ・ロワ～」の中で展示を行いました。

<第18回デコレーションケーキコンテスト>

開催日 4月23日

会場 大丸神戸店



<神戸洋菓子職人道>

開催日 4月25日

会場 大丸神戸店



<神戸ガレット・デ・ロワ コンテスト>

開催日 11月13日

会場 (一社) 兵庫県洋菓子協会



3. 情報の収集・発信

① 神戸ファッション産業規模調査

本調査は2018年度に続き6年ぶりに調査を実施しました。

神戸・兵庫のファッション産業（衣・食・住・遊に関する生活文化産業）のうち、11業種について2023年度決算データをもとに「売上高」「企業数」「従業員数」などについて調査した他、企業・団体などへのヒアリングをもとに、業界の動向や振興策、海外進出の動き、インターネットやSNSの活用、他都市との比較、ブランドの定着状況などについて取りまとめ、2025年3月に報告書を発刊しました。



② Web、SNS 等を活用した情報発信

当協会が主催する各種主催事業の情報の他、共催事業や後援事業、行政からの情報を当協会の公式 Web サイトに加え、SNS (Facebook、Instagram) を活用し、広く発信しました。

Homepage <https://www.kfo.or.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/kfo.or.jp/>

Instagram <https://www.instagram.com/kobefashionorganization/>

4. 後援・協力

(1) 後援

No.	開催日	事業名	主催者
1	4/1/～6/20	第 10 回全国高校生ウエディングドレスデザイン画コンクール	(学) 福富学園 神戸ファッション専門学校
2	4/1～6/23	第 28 回全国高校生デザイン画コンクール	(学) 福富学園 神戸ファッション専門学校
3	7/13～18	神戸北野～パリ・ウィーク	神戸北野パリウィーク事務局
4	7/19	神戸ファッション専門学校 作品発表会「KFI MOVE 2025」	(学) 福富学園 神戸ファッション専門学校
5	9/1～10/4 2025/2/1	2025 ファッションフェア ファッションデザインコンテスト	(学) 福富学園 神戸ファッション専門学校
6	9/23～24	三宮コレクション 2023 A/W	三宮コレクション実行委員会
7	11/2～4	アート・クラフトフェスティバル in たんば 2024	アート・クラフトフェスティバル in たんば実行委員会
8	10/25～26	播州織フェア 2024	(公財) 北播磨地場産業開発機構
9	2025/3/22～23	三宮コレクション 2025 S/S	三宮コレクション実行委員会

(2) 協力

No.	開催日	事業名	主催者
1	4/1～3/31	神戸セレクション	(公財) 神戸市産業振興財団

正味財産増減計算書

2024年4月1日 から 2025年3月31日 まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,626,698	6,290,000	336,698
基本財産受取利息	6,626,698	6,290,000	336,698
受取賛助会費	9,550,000	10,100,000	△ 550,000
事業収益	1,945,033	2,041,838	△ 96,805
協賛金等収益	6,449,821	7,001,009	△ 551,188
補助金等収益	19,210,835	23,118,386	△ 3,907,551
補助金収益	19,210,835	23,118,386	△ 3,907,551
受取負担金	14,425,238	16,789,111	△ 2,363,873
雑収益	71,059	9,049	62,010
経常収益計	58,278,684	65,349,393	△ 7,070,709
(2) 経常費用			
事業費	60,331,648	62,291,957	△ 1,960,309
管理費	14,765,128	9,401,431	5,363,697
経常費用計	75,096,776	71,693,388	3,403,388
当期経常増減額	△ 16,818,092	△ 6,343,995	△ 10,474,097
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 16,818,092	△ 6,343,995	△ 10,474,097
一般正味財産期首残高	62,019,835	68,363,830	△ 6,343,995
一般正味財産期末残高	45,201,743	62,019,835	△ 16,818,092
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	△ 22,554,000	△ 3,028,000	△ 19,526,000
投資有価証券評価損益等	△ 22,554,000	△ 3,028,000	△ 19,526,000
当期指定正味財産増減額	△ 22,554,000	△ 3,028,000	△ 19,526,000
指定正味財産期首残高	558,425,749	561,453,749	△ 3,028,000
指定正味財産期末残高	535,871,749	558,425,749	△ 22,554,000
III 正味財産期末残高	581,073,492	620,445,584	△ 39,372,092

正味財産増減計算書内訳表

2024年4月1日 から 2025年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	6,626,698	0	0	0	6,626,698
基本財産受取利息	6,626,698	0	0	0	6,626,698
受取賛助会費	0	0	9,550,000	0	9,550,000
受取賛助会費（企業）	0	0	6,900,000	0	6,900,000
受取賛助会費（団体）	0	0	2,400,000	0	2,400,000
受取賛助会費（個人）	0	0	250,000	0	250,000
事業収益	669,000	1,276,033	0	0	1,945,033
食文化事業収益	594,000	0	0	0	594,000
パール事業収益	75,000	0	0	0	75,000
ブランド研究会事業収益	0	617,000	0	0	617,000
その他事業収益（他）	0	659,033	0	0	659,033
協賛金収益	6,449,821	0	0	0	6,449,821
補助金等収益	19,210,835	0	0	0	19,210,835
補助金収益	19,210,835	0	0	0	19,210,835
受取負担金	14,425,238	0	0	0	14,425,238
雑収益	0	0	71,059	0	71,059
受取利息	0	0	71,059	0	71,059
雑益	0	0	0	0	0
経常収益計	47,381,592	1,276,033	9,621,059	0	58,278,684
(2) 経常費用					
事業費	57,165,959	3,165,689	0	0	60,331,648
給料手当	6,023,095	0	0	0	6,023,095
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
福利厚生費	327,889	0	0	0	327,889
会議費	351,957	623,572	0	0	975,529
旅費交通費	2,409,043	0	0	0	2,409,043
通信運搬費	697,524	3,363	0	0	700,887
消耗品費	1,057,823	2,340	0	0	1,060,163
印刷製本費	495,261	206,800	0	0	702,061
賃借料	3,053,992	92,840	0	0	3,146,832
保険料	21,064	0	0	0	21,064
諸謝金	475,460	150,000	0	0	625,460
租税公課	9,000	400	0	0	9,400
負担金	639,224	0	0	0	639,224
委託費	41,418,934	2,086,374	0	0	43,505,308
雑費	185,693	0	0	0	185,693

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
管理費	0	0	14,765,128	0	14,765,128
給料手当	0	0	5,439,783	0	5,439,783
退職給付	0	0	226,197	0	226,197
福利厚生費	0	0	1,288,535	0	1,288,535
会議費	0	0	159,447	0	159,447
旅費交通費	0	0	5,770	0	5,770
通信運搬費	0	0	133,381	0	133,381
消耗品費	0	0	40,093	0	40,093
図書費	0	0	4,040	0	4,040
印刷製本費	0	0	308,319	0	308,319
事務所費	0	0	4,268,880	0	4,268,880
賃借料	0	0	692,213	0	692,213
諸謝金	0	0	850,000	0	850,000
租税公課	0	0	75,100	0	75,100
諸会費	0	0	607,000	0	607,000
委託費	0	0	365,182	0	365,182
雑費	0	0	44,100	0	44,100
減価償却費	0	0	257,088	0	257,088
経常費用計	57,165,959	3,165,689	14,765,128	0	75,096,776
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,784,367	△ 1,889,656	△ 5,144,069	0	△ 16,818,092
当期経常増減額	△ 9,784,367	△ 1,889,656	△ 5,144,069	0	△ 16,818,092
2. 経常外増減の部					
経常外収益計	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,784,367	△ 1,889,656	△ 5,144,069	0	△ 16,818,092
一般正味財産期首残高	△ 82,279,121	△ 7,069,385	151,368,341	0	62,019,835
一般正味財産期末残高	△ 92,063,488	△ 8,959,041	146,224,272	0	45,201,743
II 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	△ 22,554,000	0	0	0	△ 22,554,000
投資有価証券評価損益等	△ 22,554,000	0	0	0	△ 22,554,000
当期指定正味財産増減額	△ 22,554,000	0	0	0	△ 22,554,000
指定正味財産期首残高	558,425,749	0	0	0	558,425,749
指定正味財産期末残高	535,871,749	0	0	0	535,871,749
III 正味財産期末残高	443,808,261	△ 8,959,041	146,224,272	0	581,073,492

貸借対照表

2025年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	161,649	196,762	△ 35,113
普通預金			
三井住友銀行①	15,137,839	26,922,652	△ 11,784,813
三井住友銀行②	1,611,937	7,623,556	△ 6,011,619
みなと銀行	1,211,498	737,336	474,162
普通預金合計	17,961,274	35,283,544	△ 17,322,270
未収金	0	680,000	△ 680,000
前払金	355,740	355,740	0
流動資産合計	18,478,663	36,516,046	△ 18,037,383
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金			
三井住友銀行	10,000,000	10,000,000	0
定期預金合計	10,000,000	10,000,000	0
投資有価証券			
投資有価証券（指定）	489,283,000	511,837,000	△ 22,554,000
投資有価証券合計	489,283,000	511,837,000	△ 22,554,000
普通預金			
三井住友銀行	36,588,749	36,588,749	0
普通預金合計	36,588,749	36,588,749	0
基本財産合計	535,871,749	558,425,749	△ 22,554,000

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 特定資産			
特定積立財産			
定期預金			
みなと銀行	40,000,000	40,000,000	0
定期預金合計	40,000,000	40,000,000	0
特別積立財産合計	40,000,000	40,000,000	0
特定資産合計	40,000,000	40,000,000	0
(3) その他固定資産			
什器備品	942,656	1,199,744	△ 257,088
電話加入権	374,920	374,920	0
保証金	80,000	80,000	0
その他固定資産合計	1,397,576	1,654,664	△ 257,088
固定資産合計	577,269,325	600,080,413	△ 22,811,088
資産合計	595,747,988	636,596,459	△ 40,848,471
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,123,511	3,585,458	△ 1,461,947
預り金	93,179	159,421	△ 66,242
仮受金	1,473,162	1,390,461	82,701
流動負債合計	3,689,852	5,135,340	△ 1,445,488
2. 固定負債			
退職給付引当金	10,299,076	10,072,879	226,197
長期未払金	685,568	942,656	△ 257,088
固定負債合計	10,984,644	11,015,535	△ 30,891
負債合計	14,674,496	16,150,875	△ 1,476,379
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	535,871,749	558,425,749	△ 22,554,000
寄附金	535,871,749	558,425,749	△ 22,554,000
(うち基本財産への充当額)	(535,871,749)	(558,425,749)	(△ 22,554,000)
2. 一般正味財産	45,201,743	62,019,835	△ 16,818,092
(うち特定資産への充当額)	(40,000,000)	(40,000,000)	(0)
正味財産合計	581,073,492	620,445,584	△ 39,372,092
負債及び正味財産合計	595,747,988	636,596,459	△ 40,848,471

貸借対照表内訳表

2025年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他会計	法人会計	内部取引等消去	全 体
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	0	0	161,649	0	161,649
普通預金					
三井住友銀行①	0	0	15,137,839	0	15,137,839
三井住友銀行②	0	0	1,611,937	0	1,611,937
みなと銀行	0	0	1,211,498	0	1,211,498
普通預金合計	0	0	17,961,274	0	17,961,274
前払金	0	0	355,740	0	355,740
流動資産合計	0	0	18,478,663	0	18,478,663
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金					
三井住友銀行	10,000,000	0	0	0	10,000,000
定期預金合計	10,000,000	0	0	0	10,000,000
投資有価証券					
投資有価証券（指定）	489,283,000	0	0	0	489,283,000
投資有価証券合計	489,283,000	0	0	0	489,283,000
普通預金					
三井住友銀行	36,588,749	0	0	0	36,588,749
普通預金合計	36,588,749	0	0	0	36,588,749
基本財産合計	535,871,749	0	0	0	535,871,749

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他会計	法人会計	内部取引等消去	全 体
(2) 特定資産					
特定積立財産					
定期預金					
みなと銀行	0	0	40,000,000	0	40,000,000
定期預金合計	0	0	40,000,000	0	40,000,000
特別積立財産合計	0	0	40,000,000	0	40,000,000
特定資産合計	0	0	40,000,000	0	40,000,000
(3) その他固定資産					
什器備品	0	0	942,656	0	942,656
電話加入権	0	0	374,920	0	374,920
保証金	0	0	80,000	0	80,000
その他固定資産合計	0	0	1,397,576	0	1,397,576
固定資産合計	535,871,749	0	41,397,576	0	577,269,325
資産合計	535,871,749	0	59,876,239	0	595,747,988
Ⅱ 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	889,598	7,423	1,226,490	0	2,123,511
預り金	0	0	93,179	0	93,179
仮受金	0	1,473,162	0	0	1,473,162
流動負債合計	889,598	1,480,585	1,319,669	0	3,689,852
2. 固定負債					
退職給付引当金	0	0	10,299,076	0	10,299,076
長期未払金	0	0	685,568	0	685,568
固定負債合計	0	0	10,984,644	0	10,984,644
負債合計	889,598	1,480,585	12,304,313	0	14,674,496
Ⅲ 正味財産の部					
1. 指定正味財産	535,871,749	0	0	0	535,871,749
寄附金	535,871,749	0	0	0	535,871,749
(うち基本財産への充当額)	(535,871,749)	(0)	(0)	(0)	(535,871,749)
2. 一般正味財産	△ 92,063,488	△ 8,959,041	146,224,272	0	45,201,743
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(40,000,000)	(0)	(40,000,000)
正味財産合計	443,808,261	△ 8,959,041	146,224,272	0	581,073,492
負債及び正味財産合計	444,697,859	△ 7,478,456	158,528,585	0	595,747,988

財務諸表に対する注記

2024 年度

1. 継続組織の前提に関する注記

該当はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの… 期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっております。

時価のないもの… 移動平均法による原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

什器備品については、定額法によっております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっており、什器備品に含めております。

ただし、リース料総額が僅少なものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

② 無形固定資産

定額法によっております。なお、ソフトウェアについては法人内における利用可能期間（5 年）に基づき定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金…………… 債権について個別に回収可能性を検討し、回収不能見積額を計上しております。

退職給付引当金… 職員の退職金の支出に備えるため、期末における協会都合要支給額から特定退職金共済積立額を控除した金額を計上しております。

(4) 消費税などの会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

(5) 税効果会計の適用について

税効果会計は適用しておりません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	46,588,749	－	－	46,588,749
投資有価証券	511,837,000	－	22,554,000	489,283,000
小 計	558,425,749	－	22,554,000	535,871,749
特定資産				
預金	40,000,000	－	－	40,000,000
小 計	40,000,000	－	－	40,000,000
合 計	598,425,749	－	22,554,000	575,871,749

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金	46,588,749	46,588,749	－	－
投資有価証券	489,283,000	489,283,000	－	－
小 計	535,871,749	535,871,749	－	－
特定資産				
預金	40,000,000	－	40,000,000	－
小 計	40,000,000	－	40,000,000	－
合 計	575,871,749	535,871,749	40,000,000	－

5. 担保に供している資産

該当事項はありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,203,840	261,184	942,656
電話加入権	374,920	－	374,920
保証金	80,000	－	80,000
合 計	1,658,760	261,184	1,397,576

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高
該当事項はありません。

8. 保証債務等の偶発債務
該当事項はありません。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	※
(補助金等)						
地場産業総合振興事業	兵庫県	-	3,010,835	3,010,835	-	-
じばさん「ひょうご国」プロジェクト事業	兵庫県	-	13,000,000	13,000,000	-	-
地場産業SDGs推進事業	兵庫県	-	2,700,000	2,700,000	-	-
中内力コンベンション振興財団	同左	-	500,000	500,000	-	-
合 計		-	19,210,835	19,210,835	-	-
(負担金)						
ファッション産業振興事業	神戸市	-	11,925,238	11,925,238	-	-
ファッション産業振興事業	神戸商工会議所	-	2,500,000	2,500,000	-	-
合 計		-	14,425,238	14,425,238	-	-

※ 貸借対照表上の記載区分

10. 関連当事者との取引の内容
該当事項はありません。

11. 重要な後発事象
該当事項はありません。

12. その他

(1) リース取引関係

① 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

当法人事務所におけるファイアウォール（セキュリティ機能）である。

② リース資産の減価償却の方法

財務諸表に対する注記「2. 重要な会計方針 (2) 固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりである。

(2) 退職給付関係

① 採用している退職給与制度の概要

当協会は退職給付一時金制度を採用しております。

② 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

退職給付債務	16,674,000
特定退職金共済積立額	6,374,924
(差引)未積立退職給付債務	10,299,076
退職給付引当金残高	10,299,076

③ 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

勤務費用	226,197
退職給付費用合計	226,197

附属明細書

2024 年度

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」の3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」を参照してください。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	10,072,879	226,197	-	-	10,299,076

財産目録

2025 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	161,649
	普通預金	三井住友銀行神戸営業部	運転資金として	15,137,839
		三井住友銀行神戸営業部		1,611,937
		みなと銀行三宮支店		1,211,498
	前払金	翌事業年度事業にかかる前払金	事務所賃借料	355,740
流動資産合計				18,478,663
(固定資産)				
基本財産	定期預金	三井住友銀行神戸営業部	運用益を公益目的事業の財源に供している	10,000,000
	投資有価証券	東京電力第 560 回社債他	運用益を公益目的事業の財源に供している	489,283,000
	普通預金	三井住友銀行神戸営業部	運用益を管理運営の財源に供している	36,588,749
特定資産	定期預金	みなと銀行三宮支店	運用益を管理運営の財源に供している	40,000,000
その他固定資産	什器備品	神戸市中央区港島中町・什器一式	管理運営の用に供している	942,656
	電話加入権	電話加入権 (8 本)	管理運営の用に供している	374,920
	保証金	タイムズ 24(株)	管理運営の用に供しているレンタカー支払保証金	80,000
固定資産合計				577,269,325
資産合計				595,747,988
(流動負債)				
	未払金	三井住友銀行他に対する未払額	振込手数料、保守料、分担金等支払	2,123,511
	預り金	所得税、住民税、社会保険料他	所得税、住民税、健康保険等預り金	93,179
	仮受金	神戸タータン協議会常設店舗の売上仮受金	神戸タータン協議会支援事業	1,473,162
流動負債合計				3,689,192
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支給に備えたもの	10,299,076
	長期未払金	什器備品に対するもの	リース債務	685,568
固定負債合計				10,984,644
負債合計				14,674,496
正味財産				581,073,492

監 査 報 告 書

2025 年 5 月 20 日

公益財団法人神戸ファッション協会
会 長 小 田 俱 義 様

監 事 宮 地 良 彰

監 事 平 井 克 幸

私たち監事は、公益財団法人神戸ファッション協会の 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの 2024 年度における理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項（同法第 197 条において準用する第 99 条第 1 項）（並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 33 条第 2 項）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

私たち監事は、理事および使用人などと意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事などからその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類などを閲覧し、同協会の事務所において業務および財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告および附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類およびその附属明細書ならびに財産目録などについて監査しました。

2. 監査の結果

（1）事業報告などの監査結果

- ① 事業報告およびその附属明細書は、法令および定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムの整備に関する理事会決議およびその体制下の理事の職務の執行は相当であると認めます。

（2）計算書類およびその附属明細書ならびに財産目録などの監査結果

計算書類およびその附属明細書ならびに財産目録などは、当協会の財産および損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

独立監査人の監査報告書

2025年5月19日

公益財団法人神戸ファッション協会
会長 小田 俱 義 殿

田村公認会計士事務所
兵庫県神戸市
公認会計士 田 村 一 美

田村公認会計士事務所
兵庫県姫路市
公認会計士 田 村 俊 雄

<財務諸表等監査>

監査意見

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人神戸ファッション協会の2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインⅠ-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重

要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人神戸ファッション協会の2025年3月31日現在の事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私たちは、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上